



薩摩川内市立隈之城小学校
令和6年6月27日(児童数713人)

【校訓】

考える 仲よく がんばる

隈小ブローグ



〒895-0041 薩摩川内市隈之城町1392番地1 Tel:0996-23-2604 Fax:0996-22-0581
<http://www.edu.satsumasendai.jp/kumanojo-e/>

雨の登校で思うこと

校長 久木田 剛

暦どおりだと梅雨明けまでもう少しかかりそうです。そのような中、先日引渡し訓練を行いました。保護者をはじめ、PTA役員、地区コミのスクールガードの皆様のご協力のおかげで、スムーズな引渡しができました。ありがとうございました。訓練では様々な災害を想定していますが、この時期はやはり線状降水帯による大雨、河川の氾濫等が懸念されます。本校は通学路に川や深い側溝、農業用水路等もあることから、日頃から子供たちに注意喚起しているところです。

さて、私の朝の始まりは、子供たちを迎えるために校門に立つことから始まります。この時期、特に朝の天気は、大変気になります。雨にぬれずに登校できればと心配しますが、意外と子供たちは雨を楽しんでいるようです。雨靴とカッパ、傘といったフル装備で、とても楽しそうに歩いてきます。また、少しの雨なら気にせず、傘もささずに、靴が濡れてもへっちゃらな顔で、水たまりを歩いてくる子もいます。しかし、同時に雨の怖さを知ること大切です。水かさの増した側溝や川を見て、怖いと感じてほしいのです。このことは危険予知訓練となり、危機を回避し、自らの命を守ることに繋がります。

雨の日でも多くの子供が歩いて登校しており、感心します。雨の中を送り出す親も、車で送ってあげたくなる日もあるでしょう。事実、雨の日は子供を送る車も一気に増えます。家が遠い場合は、安全確保の点から仕方がないことだと思います。しかし、雨の中を歩くことで、子供は気づくことも多いのです。雨特有の湿った匂い、傘に当たる雨粒の音、濡れた河原の草の色、田んぼから聞こえるカエルの鳴き声、川や側溝の濁流音…。こういった五感に直に届くものが感性を豊かにするとともに、危険に気づくアンテナを育ててくれます。今の時代、ただでさえゲーム等バーチャルな体験が多くなり、直接体験の機会が減っています。そんな子供たちの体験の機会を取り上げることのないようにしてあげたいものです。もしかすると、「子供のため」を考

えると、五感で感じる多くの体験の場を奪ってしまっているのかもしれない。学校までではなく、手前で下ろし、子供に歩く機会を与え、様々な体験をさせることができるということです。



ご協力をお願いします!!

～校内への車の乗り入れについて～

今年は、雨が集中して降る日が多く、子どもたちの登下校にも支障をきたしています。特に慌ただしい朝の登校時間帯には、子どもたちを車で送る場合もあるかと思いますが、大雨が降る中で学校周辺は大変混雑をしており、事故などのトラブルにつながるのではないかと心配をしているところです。

ついでには、子どもたちを送迎される際には、少しでも混雑を避けるために、できる限り学校から離れたところで行っていただきますよう、ご理解とご協力宜しくお願いします。なお、子どもたちが校内へ出入りする際には、正門と体育館側出入口のみを利用することとなっておりますので、あらためてご確認ください。

また、プール側の駐車場については、原則として職員専用の駐車場となっています。事情があって、事前に駐車許可の申請をされた方以外は、プール側入口から車を乗り入れての駐車はお控えください。(18時以降に、会合などに出席される場合は、空いている場所に停めていただいて結構です)

7月・8月の主な行事予定

7月

- 3日(水) 学級PTA
- 11日(木) 学期末事務旬間のため5時間授業(～18日)
創立150周年記念ドローン空撮
- 13日(土) 土曜授業日 学級レク(3-2・2-2・5-3)
- 15日(月) 国民の祝日『海の日』
- 19日(金) 終業式・大掃除 ※給食あり・13時下校
- 27日(土) 夏休み通学路ゴミ拾い大作戦
県吹奏楽コンクール(金管バンド出場)

8月

- 3日(土) 地区コミ主催隈之城夏祭り
- 11日(日) 国民の祝日『山の日』
- 12日(月) 『山の日』振替休日
- 13日(火)～15日(木) 学校閉庁日
- 18日(日) 6年生親子愛校作業
- 21日(水) 出校日

読書好きな子どもたちを育てるために

先日の職員研修で、子どもたちの読書に関する実態について、意見交換を行いました。

『本を読むのは好きですか?』の問いに対して、2年生から4年生は47～50%の子どもたちが大好きと回答していましたが、5・6年生になると33～36%と、学年が上がるにつれて「読書への興味関心」が低くなってきている傾向にあります。また、『平日及び休日に家庭でどれくらい読書をしているか』については、34%の子どもたちがほとんど読まないと回答しています。

豊かな言語能力を育むためには、本を読むことが大好きだという子どもが増えていくことが重要になってきます。今後は、「本を読むことで、言葉や表現を知ることができる」「将来役に立つ」といった、読書の楽しさや有用感を味わわせる活動を多く取り入れていきたいと考えています。

子どもたちの興味関心については、分類ごとの貸出冊数をみると、『算数・理科・科学・天文学』と『小説・物語・エッセイ・詩』の2つのジャンルがどの学年でも人気で、自身の学習や生活に必要な情報やトレンドを得ようとしています。個々でみると、ジャンルの偏りはあるかもしれませんが、まずは自分の興味関心や知識をさらに広げるために、『本と友だちになること』を目標にすることで、読書好きな子どもたちを育てていくことができるのではないのでしょうか…



学童期のお口の健康を保つために 今できること

6月19日(水)に、今年度1回目の学校保健委員会が開催されました。年間のテーマや活動計画の確認、健康診断の結果についての説明が行われた後、学校薬剤師の藤井規好先生から『歯の病気からの生活習慣病』と題して、お話をしていただきました。

歯が健康で、顎をしっかりと動かして、よく噛んで食べることができると、それだけ頭の血流が良くなり、脳細胞の活性化が促されます。しかし、噛む力(咀嚼力)が弱いと脳細胞に元気がなくなり、認知症のリスクも高まるとのことでした。他にも、咀嚼力が弱いことで柔らかいものばかりを食べるなどして、食事のバランスが悪くなり糖尿病を引き起こしたり、噛まずに飲み込むことで胃潰瘍になったりする場合もあるとのことをお話を聞き、『噛む能力・食べる能力』は食べるという行為そのものだけではなく、いろいろな病気のリスクを回避するためにも、とても大切であることを知ることができました。

その噛む能力・食べる能力の土台にあるものは、言うまでもなく『歯と口の健康』です。生活習慣として、毎日当たり前のようにやっている歯磨きですが、これからはぜひ体全体の健康維持にもつながっていることを意識しながら、ご家族そろって歯と口の健康について考えていただけるとありがたいです。磨き方にも、少し変化があるかもしれませんね!



ロゴマークが決定しました!!

先月号でご紹介した150周年記念のロゴマークの投票が終わり、子どもたちが描いた原画をもとに2つのデザインが決定しました。今後は、各種イベントやのぼり旗・いろいろなノベルティに使用していきたいと考えています。

また、校区内全世帯3200戸にチラシを配布し、寄付金の募集も始めました。学校に直接お越しになって寄付される方や、振込で寄付される方がいらっしゃるなど、皆様方の隈之城小学校への篤い思いに心より感謝する次第です。

そのような中、隈之城地区コミュニティ協議会の会長をはじめ、役員の方々が地区コミからの寄付金の目録を手し、学校におみえになりました。いただいた御寄付については、150周年記念事業、そして子どもたちのために有効に使わせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

